

第7回札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート 検討委員会

ニュースレター No.8

2011年1月13日発行
発行 / 恵庭市

「第7回札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」が開催されました

「札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」の第7回検討委員会を、去る12月20日(月)15時から恵庭市役所にて開催し、委員10名と本委員会のアドバイザーである、北海道大学工学研究院の岸邦宏准教授が出席しました。

提言書(案)の確認後、市長へ提言書の受け渡しを行い、これをもって本委員会は、閉会となりました。



提言書(案)について

- ・非常に有意義な提言書を作成することができた。
- ・委員会で何度も案を練り直し、実際に現地を見ることができたのでいいものとなった。
- ・今後の方向性について触れることができた点も評価できる。

検討委員会について

- ・検討委員会において、良い出会いの場、勉強の場となった。
- ・当初はルートがほとんど決まっているのかと思っていたが、夢を語る検討会となった。
- ・実際に候補ルートを見学し、細かい道路まで行ったことで、故郷を再発見できた。
- ・責任の重い仕事で、いい勉強になった。

今後に向けて

- ・市民・地域との合意形成とあるが、市民の意見を新たに求めたり、変更したりすることを考えているのか。
市民に対するPRという側面が大きい。北海道による事業展開がなされる中で、提言を受けての進め方等を示す場を設定できるよう取り組みたい。
- ・札幌から北広島、恵庭までつながったが、折返し用のルートとしても盤尻ルートを検討してほしい。
- ・ロケーションの良い恵庭における、健全な自転車の文化の発展に協力したいと思う。
- ・自転車道が市民に喜ばれ、たくさん利用されるものになってほしい。
- ・提言書の通りにサイクリングルートが進めば、恵庭の活性化の為に、素晴らしいサイクリングロードになると思う。
- ・恵庭市民だけでなく、近郊や全道から人が集まるサイクリングロードとなってほしい。
- ・恵庭市が、全国への新しい自転車道の作り方の枠組みの発信源となるように、まちづくりとどれだけ連携出来るのかが重要である。
- ・出来上がった自転車道を中心としたまちづくりは、恵庭市民はきっと上手くできると確信しているので、良いものを造れるよう行政にがんばっていただきたい。
- ・自転車を中心とした街・社会が、これからのまちづくりを考える上で一番重要なものになってくる。

提言書の受け渡し

各委員、岸アドバイザーからこれまで行った委員会や札幌恵庭自転車道線(恵庭工区)に関する意見、感想を述べたあと、泉谷委員長から原田市長へ提言書を提出しました。

その後、原田市長から挨拶があり、本委員会は閉会となりました。



「札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会」に関するお問い合わせは

【委員会 事務局】 恵庭市 企画振興部都市計画課 | 〒061-1498 恵庭市京町1番地 | 0123-33-3131
【委員会アドバイザー】 北海道札幌建設管理部 千歳出張所 道路係 | 〒066-0067 千歳市桂木6丁目1-28 | 0123-23-4191